

世帯と人口

昭和61年9月1日現在
世帯 29,739世帯(+9)
人口 95,382人(+120)
男 49,054人 女 46,328人

毎月1日・15日発行

広報 えびな

編集・発行
海老名市役所秘書広報課
〒243-04
神奈川県海老名市国分155
☎(0462) 31・2111

人生80年 これからも頑張るぞ



高齢者 仕事を通じて社会参加

十月は高齢者雇用促進月間です。高齢化社会を迎え、人生八十年」と言われている現在、一年はとつてもまだまだ元気、豊富な人生体験を社会に役立てたい」と願っている人が大勢います。今回は、こうした希望を実現して第二の職場で元気に働いている浜口作二さんを紹介します。併わせて高齢者無料職業紹介所の概要をお知らせします。

自分に自信が

「若い頃は軍隊でつらい目に会いましたが、同時にどんなことにもへたれない心構えや、建物の警備方法などを身につけて、それが現在の仕事に役立っています」

と話すのは浜口作二さん(67歳)。浜口さんは長年勤めた厚木市の配管設備関係の会社を六十二歳で退職、三年前から市立総合福祉会館に夜間警備員として警備会社から派遣されて

います。

勤務は週四日間、午後五時から同年配の同僚と交際で、火災・盗難予防の館内巡回を繰り返して行うほか、来館者の対応も。「来館される人たちは館内での活動を楽しましにしていますので、巡回時にはその人たちの気分を書さないよう、気を配っているつもりです」

こうした気配りに応えてか、願望じみの来館者は退職時、浜口さんにねぎらいの声をかけてくれるそう、浜口さんは「気持ちよく帰っていただけたら仕事に充実感がある」と、目を細めます。しかし、館内保安の任務に神経を集中させているときの浜口さんは寡黙で、その後ろ姿からは「責任」の文字が連想されます。

「私もまだこれだけのことが出来る」という自信を持ち続けるために、自分に責任が課せられた仕事を続けていきたい。一年をこつこつと仕事をしていると世間体が悪いと、考え事も通じて人とくれば、社会ごんがりをもち続けることが、ホケ予防にも役立っています」

休日には孫に会いに行くのが楽しみ、という長きおしやちゃんでもある浜口さんは、今夜も警備勤務に励んでいます。



来館者との対応も(仕事を通じて、人とのふれあいが...)

働きたい方へ...

128人が就職

市社会福祉協議会が設置した高齢者無料職業紹介所では、おむね六十五歳以上で、就労を希望する方を対象に職業のあっせん、生活相談などを無料で行っています。



定年などで退職したが、当分は今まで同様に就職を希望される方。就職は望まないが健康のため短期・短時間でも働いて収入を得たい方。自分の経験や技術を社会のために役立てたいと考えている方は、同職業紹介所でご相談を。

予想外の収穫も:

城川鈴雄さん (さつき町)



「草むしりが主な仕事です。休憩時間もたっぷりあるし疲れることはありません。仕事をしていると、無理をしないでやってもいいねと声をかけられたりもします」

「毎日働くのはちょっときついですが、たまに短期間働いただけなら気分転換にもなり、健康にも最適。紹介してもらった仕事を通じて知り合いが増えたと予想外の収穫でした」

とき・10月20日(月)午後1時~4時。午後12時半に集合、雨天の場合は25日(土)／ところ・市立総合福祉会館(会場へのバス送迎あり)／内容・盆裁の初歩のせん定と管理／対象・60歳以上の市内在住者30人先着順／申し込み・市社会福祉協議会高齢者無料職業紹介所(☎31・4122)土・日・祝日は除く。

技術を覚えよう

高齢者
植木手入れ講習会



繰り返し行われる館内巡回

と日・祝日は除く。

サトイモに花!

東柏ケ谷の老人農園で



珍しいサトイモの花と乾さん

東柏ケ谷四丁目老人農園で、家庭菜園を楽しんでいる、乾茂さん(東柏ケ谷四丁目、七十九歳)のサトイモ畑で、このほど収穫したサトイモの花が、このほど、市が用地を借りおこなった。

「サトイモの花が咲くのは、近所の話題となりました。この老人農園は、近くに住む海谷吉次郎さん(七十四歳)の畑で、市が用地を借りおこなった。昨年栽培したサトイモを保存しておいて、今年日本ぐらいい値入ったのですが、四十本ほどが花やつぼみをつけました。」

「サトイモの花は、黄白色で長さ三十五センチ、幅六センチほど、相模原農業改良事務所では、サトイモの花が咲くのは、今年のはじめであるが、今年のはじめは高温多湿で梅雨時も雨が多かったので開花したのが、サトイモの親イモが大きく成長すると花が咲く場合があります」と話していました。

「サトイモの花が咲くのは、今年のはじめであるが、今年のはじめは高温多湿で梅雨時も雨が多かったので開花したのが、サトイモの親イモが大きく成長すると花が咲く場合があります」と話していました。

「サトイモの花が咲くのは、今年のはじめであるが、今年のはじめは高温多湿で梅雨時も雨が多かったので開花したのが、サトイモの親イモが大きく成長すると花が咲く場合があります」と話していました。

災害に備えて

市保健医学協議会が 抜き打ち通信連絡訓練



訓練とは思えぬ緊張感が... (市健康センターで)

「救急医療機関」に伴い、高野医師会海老名支部の医師たちで組織する市保健医学協議会(高橋哲也会長、五十一人)は、九月九日の「救急の日」に大地震などの災害時を想定した抜き打ちの通信連絡訓練を行いました。この訓練は、緊急時の電話連絡がとれけずスムーズに行われるか、出動可能な医師が何人いるか、空きベッドが確保されたかを確認する目的で行われましたが、県下でもあまり例のない訓練だったと語ります。

当日は、さつき町の市健康センターに本部が設置され、午後二時から訓練開始。同会の緊急災害等救護隊組織図に従って、各医師に電話連絡がなされた。連絡がスムーズに行われ、報告を受けたのは二十一分のうちに三十六人(七〇・六%)で、空きベッドは総ベッド数七百二十床のうち百床(一三・九%)と確保された。

この結果について高橋会長は「電話連絡は手際よく、出動可能な医師と空きベッド数、災害時に一応対応できる数、と思うが、いずれも〇%ほど上乗せがほしい」と話していました。同会では今後もう一回訓練を毎年行い、災害初動時の迅速な通信連絡体制を確立し、救急医療活動に万全を期していきたいとのことでした。

ご参加を

立派な野鳥少年の家(藤野町野鳥四八一九〇四二)は、この二つの十月事業の参加者を募集しています。

家庭教育相談

県教育庁高相教育事務所、座間市教育委員会主催の家庭教育相談(幼児期)相談事業が、十月十日(月)午後九時半から午後四時まで、座間市公民館で、幼児を持つ親、またはそれにかかわる教育者を対象に行われます。

親子プラネタリウム教室

プラネタリウムで秋の星空を眺めてみませんか! 授課期間: 十月一日(土) 授課時間: 十月一日(土) 授課時間: 十月一日(土) 授課時間: 十月一日(土)

市制15周年記念 NHK名曲コンサート

「NHK・FMシンフォニーコンサート」に千100人を招待 昭和六十二年十月十一日(土)午後三時四十分開演、市文化会館で出演は指揮・山田一雄、ピアノ・藤原由紀、管弦楽・東京フィルハーモニー交響楽団。申し込みは往復ハガキ(一枚二名まで)で次のとおり。十月二十九日(土)の両日まで有効。申し込み多数の場合は抽選。未就学児は入場できません。

公民館だより

フランス語に挑戦



開講初日、みなさんの目は真剣そのもの

二期の公民館講座は多数の応募の中で盛況に始まり、フランス語に挑戦する山中朱一さん(国分・77歳)を通して公民館講座の楽しさを紹介いたします。学習意欲が燃えるお年寄りが多い昨今ですが、意欲的な山中さんとその若さ柔軟性の秘訣をうかがいました。

「自宅から公民館までは歩いて通います。歩いていって色々と山の中さん、歩くことが苦痛の秘訣のひとつです。何でもやるだけやってみようと思うひたむきな向上心には敬服しました。」

会員募集中

中華料理OB会 月一回 入会金五百円、月一回 会費五百円、月一回 会費五百円、月一回 会費五百円



手作りの 絵本講習会

十月十四日、二十一日、二十八日、十一月五日、十一日、十八日、十一月二十五日、十二月二日、九時開演、市立図書館で。内容は布の絵本についての講義と製作。今回は「ケキはつくん」。講師は桐生初枝氏。人員は三人、先着順。受講料は無料(材料費千五百円は別途)。

「NHK・FMシンフォニーコンサート」に千100人を招待 昭和六十二年十月十一日(土)午後三時四十分開演、市文化会館で出演は指揮・山田一雄、ピアノ・藤原由紀、管弦楽・東京フィルハーモニー交響楽団。申し込みは往復ハガキ(一枚二名まで)で次のとおり。十月二十九日(土)の両日まで有効。申し込み多数の場合は抽選。未就学児は入場できません。

今月のアポイント

笑みを絶やさず国際交流

「から日本ガールスカウト代表として招待された二人のうち一人、アーツ・オディッセイ」とは、各国のガールスカウトが食事を共にして交流を深めながら、市民協会の主催による、アーツ・オディッセイの主催者、アメリカ・ペンシルバニア州のガールスカウト日本連盟代表でアメリカへ派遣された加島聡子さん



「アメリカで得たことを今後のスカウト活動に活かしたい」と話す加島さんの目は生き生きと輝いていた。国分、五人家族。

中村絃子 ピアノ リサイタル

12月14日(日)午後3時開演、市文化会館(32・3231)。入場料はS席2500円、A席2000円(全席指定)、団体割引あり。前売開始は10月12日(日)午前9時から、電話予約は午後1時から。未就学児の方は入場できません。

アルフレッド・ハウゼ オーケストラ海老名特別公演

11月7日(金)午後6時半開演、市文化会館(32・3231)。入場料はS席4000円、A席3500円。全席指定、団体割引あり。好評前売中。

「輝け」不滅のメロディー

出演 田端義夫・和田弘とマヒナスターズ・三船和子

10月25日(土)午後1時と5時半の2回公演、市文化会館(32・3231)。入場料はA席3000円、B席2500円(全席指定) 団体割引あり。好評前売中。

子猫物語

11月16日(日)午前10時と午後1時の2回上映、市文化会館(32・3231)。入場料は前売券700円、当日券900円(全自由席) ※前売りで売り切れた場合、当日券はありません。好評前売中。

10月の青空市

10月19日午前9時~午後3時、本部32202

第3日曜日を除く毎週日曜日朝7時から、市役所駐車場。主な出品はサツマイモ、長ネギ、ショウガ、ピーマン、ナス、玉ネギ、サトイモ、ニンジン、ジャガイモ、ニンジン、ダイコン、キヌワリ、鶏卵、鉢物など季節物があふれます。出品者少の要があります。問い合わせは農産係(内線)

9月の価格情報

品目	単位	大型店		中小店	
		平均価格	最高価格	平均価格	最高価格
しょう油	パック1L	253(10)	—	273(4)	280
みそ	袋入1kg	357(26)	358	324(7)	358
砂糖	白・1kg	251(17)	268	272(4)	270
マーガリン	パック225g	174(21)	188	190(2)	188
サラダ油	ポリ700g	328(42)	368	322(48)	368
マヨネーズ	ポリ500g	322(20)	338	354(21)	340
小麦粉	薄力粉1kg	197(11)	203	218(0)	208
牛乳	パック1L	204(8)	188	208(0)	220
鶏卵	M10個入	217(11)	218	212(11)	198
豚肉	もも肉100g	167(0)	148	166(16)	170
無リン合成洗剤	箱入2.65kg	901(9)	910	899(6)	910
粉石鹼	袋入3kg	844(32)	850	874(4)	—
灯油	配達18L	()	—	1,074(257)	1,080

※価格は、海老名市消費生活モニター30名の協力を得て、月初めに調査した通常平均価格です。()内は前年同月比△は、安。

フォトピックス

成功音楽の祭典
市民音楽祭に17グループ
市内の音楽グループが一堂に
会し、音の競演を繰り広げる第
一回市民音楽祭が、九月七日、



二百人の合同合唱も披露
市文化会館で行われた。同音楽祭は、発表の場に恵まれない音楽グループを発掘し、グループ相互の交流と文化の向上を目指して年一回行われるもので、今回は十グループが出場。各グループは独奏、合唱、邦楽の部に分かれて練習の成果を発表。特に合唱の部では、八グループ約二百人による合同合唱も行われ、満場の拍手を浴びた。発表後、関係者からは、「一人より二人、のたとえ通り、大ぜい集まれば合唱に幅がでてる。音楽祭をきっかけに音楽の輪を広げたい」との声も。

展示会で交流
ニチイで「愛護作品写真展」
九月十八日から五日間、ニチイ海老名店あじあじ通りで「愛護作品写真展」が行われた。この展示会は、知恵遅れの人たちの手作り品と日々の生活を記録した写真を展示し、多くの人たちに精神薄弱者（児）に対する理解を深めてもらうことと開かれたもので、県央各地の手をつなぐ親の会など二十四団体が出展した。

子猫も登場
お年寄りの作品展開かれる
老人ホーム「中心荘（浦野正



会場に並べられた陶芸品、洋服、人形などの作品は回を追うごとに技術的にも向上しており、来場者からは「すばらしいので買って帰りたい」との声も。また、各団体の出展者の来場も目立ち、会場は各団体の交流の場としても利用されていた。

永園長、協人」のお年寄りが作った手芸品、木工品などの展示。即売を中心とした「第七回お年寄りの作品展」が九月十日から六日間、ニチイ海老名店文化ホールで開かれた。同展は、多くの人に老人ホー

「買って帰りたいわの声も」
ムと老人福祉について理解を深めてもらうことがねらい。会場には軍手を使った人形、焼き物、押し絵など約百点が展示されたが、特に今年の映画などの猫フ

ームを反映してかわいい猫の人形が自立的。製作者のお年寄りたちも、毎回出品を楽しみにしており、回ごとに作品に工夫を凝らすことで、顔なじみの来場者からは「毎回、楽しんでいます」という意見も聞かれた。なお、収益金は将来、老人福祉に役立てたいとのこと。

駅周辺に 公衆便所を

海老名駅前施設について、周辺の開発が進められる中で整備されると聞きましたので、将来はできるので安心ですが、公衆便所はどうなんでしょうか。
駅前前と聞いても、あんなに思いますが、お父さんをつれてお母さん、尿意をもよおした子供をつれて、おやおおしている痛ましさをたたび見るのが、これだけ立派な駅なのだから、あってよいのではありません。国分 永嶋喜久子



みんさんの声
秘書広報課へ

▲昔話 ▲昔話 ▲昔話

関東大地震が私が十六歳のときであった。大地震が起き上がるさな下動がおさまった後、私は世間の様子が知りたくて、眺望のきく上の台へ上って見た。ほつと震れている大気の下で、厚木や平塚の町から煙が上っているのが見えた。引き返して近所の状況と、と前の道に出たら、所々に割れ目ができていた。裏山の裾が張り出した部分に約三がの崖があったが、それが崩れ落ち、下の道路を八、九十度傾斜させた。その稜線めいた上を通り過ぎると、北隣りに当たる家が潰れていた。

田んぼの中を横切る大山街道は、縦に裂け目も亀裂が走っていて、その幅の広い部分は二十センチもはくく口を開けていた。逆川沿いの叔父の家も潰れ、長男の赤ん坊が家の中に落ちていたので、ワラ屋根をはがけ入り、梁の隙間から助け出したとい

ち何とも無意味なものだった。京浜地区が火災を起しているなど自己判断をしたがその通りで、筆舌に尽くし難い惨状だったことを後で知った。その夜は、隣りの家族と一緒にかまどで焼酎を飲んだ。大山街道をやることもなかった。大谷地区からは誰かの手がかりがなかったが、心身共に

う。叔母は桑野蔵用の穴倉（ローム層を掘った横穴）の中にいたが、土がはらばらと落ちてきたので飛び出し、間一髪のところで助かったということだった。夜になると東から北東にかけての空が真っ赤に染まっていた。そして赤黒く渦巻く雲が立

ての空が真っ赤に染まっていた。そして赤黒く渦巻く雲が立

には日本刀の抜き身をかさしながら、「来るなら来てみやがれ」などとかめく人もいて、全開望地の方向に向かって行った。

負い、二百以南の松山へ隣と家の女子供の先頭に立ち、道も無い畑と雑木山道に逃げ登り、息をこらしてひそんでいた。二



関東大地震で倒壊した清水寺の忠魂碑(中央) (写真提供は小島重治氏=大谷=)

四、五日たつてから「外国に襲来は事無根、諸子の地方には近く軍隊を派遣し治安に当たらせる。安心して乗に臥かれ」という意味の通知が戒厳司令部より役場にいった、と知らされた。そして本場に騎兵隊が来て、薬師様の庭に馬をつないだのを目の当たりにして、ようやくこの騒ぎは治まったのであった。(池田 武治)

海老名むかしむかし
☎33・3838
電話で海老名の昔ばなしが聞けます。電話で海老名の昔ばなしが聞けます。電話で海老名の昔ばなしが聞けます。電話で海老名の昔ばなしが聞けます。